

瑞浪市市民まちづくり会議 取組検証(評価)集約シート(3/16実施分)

資料1-③

【担当課】 学校教育課

【検証する取り組み名】 第9条 18ページ 地域学校協働活動の体制整備(コミュニティ・スクール ※以下CSと表記)

	平均	委員評価欄				
◎取組推進方針	3.5	【内容/スケジュール/方向性】取組内容について、目的達成、課題を解消していくことができそうか。				
◎取組状況など	3.4	【取り組んだ内容/実績】取り組んだ内容及び実績について、目的が達成できたか。				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>市民の役割、市民ができること</th> <th>行政の役割、行政がやるべきこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>①学校を運営するとはどういうことか、学習指導要領やカリキュラム、教員の仕事内容などを、まずは理解することが大切だと思います。</p> <p>②今まで自分が入っていた団体が行っていた活動を、育てたい子ども像から考えて改善したり、他の団体と一緒にやって行ったりという動きをつくっていく必要がある。今までやっていたので…で続けるのではなく、減らす勇気も大切ではないか？ 地域学校協働活動のおかげで動きやすくなった、やりがいが出てきたと思えるように、知恵を出していきたい。</p> <p>③地域の一員として、地域の子どものために、誰もがそれぞれの立場からCSの取り組みに参加することが理想ではある。これから立ち上げる地区については、広報紙等を活用して、CSの意義、従来の活動との相異などについての認識を深め、子どもとかかわりのある団体への働きかけを、また、すでにスタートしているCSでは、地域資源の掘り起こしやスキルアップ及び有機的な仕組みづくりを進めながら、さらに学習支援等に助力できるように、学校の頼れる応援団としての力を培っていけるとよい。</p> <p>④地域には、母校を大切に思っている人たちが大勢います。個人で登校道路の草刈りや登校の見守りをして見えます。CSの導入で地域が学校を応援しやすくなるといいと思います。(学校の敷地内の美化には、なかなか踏み込めないです)</p> <p>⑤地域の方が積極的に学校へ出向けるような体制づくりが必要であり、地域の方は全面的なサポートをする意識はあると思われるので学校・地域・家庭のトライアングルを確立すること。</p> </td> <td> <p>①学校側や地域側の時間的・人的負担がとても大きいと思います。事務スタッフ・コーディネーター・アドバイザーなどの雇用や派遣が必要と思われる。そうしないと、みなさんがくたびれて、形骸化していく心配があります。</p> <p>②釜戸と稲津地区からのスタートは良い。また、関係者、役員等の努力で1年目としては良いスタートとなっている。2年目・3年目で「会議も増えて大変だ」と言わせない指導や工夫が必要になると考える。やりながら組織や内容を変えていくという姿勢が大切ではないか。</p> <p>③まずは、地域住民へのCSの意義や運営方法等の周知を図りたい。手間と時間を要するが、現在進行中のPR・広報紙の発行、各会合での説明会等を軸に引き続き注力されたい。それと並行しながら、学校と連携して運営協議会の立ち上げ及び定着に向けての指導・支援を続けられたい。少なくとも運営協議会が機能するようになるまでは学校(行政)主導の形かと思われる。また、活動が活発になるにつれ、組織内の連絡や地域への広報活動などもふえることが予想されるので、それに伴う財政的な支援にも期待したい。</p> <p>④CSは、一部の学校で導入されたばかりで、これから課題が見つかると思います。地域性もあるので、改善しながら取り組んでいただきたいと思います。地域の過干渉から先生を守っていただきたいと思います。(作業増からも)</p> <p>⑤学校運営協議会に対して、活動に於ける資金面で援助ができる体制は必要と思われる。</p> <p>⑥積極的にかかわり、市民を先導すること、定着するまではリーダーシップは市にあると思います。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	市民の役割、市民ができること	行政の役割、行政がやるべきこと	<p>①学校を運営するとはどういうことか、学習指導要領やカリキュラム、教員の仕事内容などを、まずは理解することが大切だと思います。</p> <p>②今まで自分が入っていた団体が行っていた活動を、育てたい子ども像から考えて改善したり、他の団体と一緒にやって行ったりという動きをつくっていく必要がある。今までやっていたので…で続けるのではなく、減らす勇気も大切ではないか？ 地域学校協働活動のおかげで動きやすくなった、やりがいが出てきたと思えるように、知恵を出していきたい。</p> <p>③地域の一員として、地域の子どものために、誰もがそれぞれの立場からCSの取り組みに参加することが理想ではある。これから立ち上げる地区については、広報紙等を活用して、CSの意義、従来の活動との相異などについての認識を深め、子どもとかかわりのある団体への働きかけを、また、すでにスタートしているCSでは、地域資源の掘り起こしやスキルアップ及び有機的な仕組みづくりを進めながら、さらに学習支援等に助力できるように、学校の頼れる応援団としての力を培っていけるとよい。</p> <p>④地域には、母校を大切に思っている人たちが大勢います。個人で登校道路の草刈りや登校の見守りをして見えます。CSの導入で地域が学校を応援しやすくなるといいと思います。(学校の敷地内の美化には、なかなか踏み込めないです)</p> <p>⑤地域の方が積極的に学校へ出向けるような体制づくりが必要であり、地域の方は全面的なサポートをする意識はあると思われるので学校・地域・家庭のトライアングルを確立すること。</p>	<p>①学校側や地域側の時間的・人的負担がとても大きいと思います。事務スタッフ・コーディネーター・アドバイザーなどの雇用や派遣が必要と思われる。そうしないと、みなさんがくたびれて、形骸化していく心配があります。</p> <p>②釜戸と稲津地区からのスタートは良い。また、関係者、役員等の努力で1年目としては良いスタートとなっている。2年目・3年目で「会議も増えて大変だ」と言わせない指導や工夫が必要になると考える。やりながら組織や内容を変えていくという姿勢が大切ではないか。</p> <p>③まずは、地域住民へのCSの意義や運営方法等の周知を図りたい。手間と時間を要するが、現在進行中のPR・広報紙の発行、各会合での説明会等を軸に引き続き注力されたい。それと並行しながら、学校と連携して運営協議会の立ち上げ及び定着に向けての指導・支援を続けられたい。少なくとも運営協議会が機能するようになるまでは学校(行政)主導の形かと思われる。また、活動が活発になるにつれ、組織内の連絡や地域への広報活動などもふえることが予想されるので、それに伴う財政的な支援にも期待したい。</p> <p>④CSは、一部の学校で導入されたばかりで、これから課題が見つかると思います。地域性もあるので、改善しながら取り組んでいただきたいと思います。地域の過干渉から先生を守っていただきたいと思います。(作業増からも)</p> <p>⑤学校運営協議会に対して、活動に於ける資金面で援助ができる体制は必要と思われる。</p> <p>⑥積極的にかかわり、市民を先導すること、定着するまではリーダーシップは市にあると思います。</p>
市民の役割、市民ができること	行政の役割、行政がやるべきこと					
<p>①学校を運営するとはどういうことか、学習指導要領やカリキュラム、教員の仕事内容などを、まずは理解することが大切だと思います。</p> <p>②今まで自分が入っていた団体が行っていた活動を、育てたい子ども像から考えて改善したり、他の団体と一緒にやって行ったりという動きをつくっていく必要がある。今までやっていたので…で続けるのではなく、減らす勇気も大切ではないか？ 地域学校協働活動のおかげで動きやすくなった、やりがいが出てきたと思えるように、知恵を出していきたい。</p> <p>③地域の一員として、地域の子どものために、誰もがそれぞれの立場からCSの取り組みに参加することが理想ではある。これから立ち上げる地区については、広報紙等を活用して、CSの意義、従来の活動との相異などについての認識を深め、子どもとかかわりのある団体への働きかけを、また、すでにスタートしているCSでは、地域資源の掘り起こしやスキルアップ及び有機的な仕組みづくりを進めながら、さらに学習支援等に助力できるように、学校の頼れる応援団としての力を培っていけるとよい。</p> <p>④地域には、母校を大切に思っている人たちが大勢います。個人で登校道路の草刈りや登校の見守りをして見えます。CSの導入で地域が学校を応援しやすくなるといいと思います。(学校の敷地内の美化には、なかなか踏み込めないです)</p> <p>⑤地域の方が積極的に学校へ出向けるような体制づくりが必要であり、地域の方は全面的なサポートをする意識はあると思われるので学校・地域・家庭のトライアングルを確立すること。</p>	<p>①学校側や地域側の時間的・人的負担がとても大きいと思います。事務スタッフ・コーディネーター・アドバイザーなどの雇用や派遣が必要と思われる。そうしないと、みなさんがくたびれて、形骸化していく心配があります。</p> <p>②釜戸と稲津地区からのスタートは良い。また、関係者、役員等の努力で1年目としては良いスタートとなっている。2年目・3年目で「会議も増えて大変だ」と言わせない指導や工夫が必要になると考える。やりながら組織や内容を変えていくという姿勢が大切ではないか。</p> <p>③まずは、地域住民へのCSの意義や運営方法等の周知を図りたい。手間と時間を要するが、現在進行中のPR・広報紙の発行、各会合での説明会等を軸に引き続き注力されたい。それと並行しながら、学校と連携して運営協議会の立ち上げ及び定着に向けての指導・支援を続けられたい。少なくとも運営協議会が機能するようになるまでは学校(行政)主導の形かと思われる。また、活動が活発になるにつれ、組織内の連絡や地域への広報活動などもふえることが予想されるので、それに伴う財政的な支援にも期待したい。</p> <p>④CSは、一部の学校で導入されたばかりで、これから課題が見つかると思います。地域性もあるので、改善しながら取り組んでいただきたいと思います。地域の過干渉から先生を守っていただきたいと思います。(作業増からも)</p> <p>⑤学校運営協議会に対して、活動に於ける資金面で援助ができる体制は必要と思われる。</p> <p>⑥積極的にかかわり、市民を先導すること、定着するまではリーダーシップは市にあると思います。</p>					
◎改善点、不足する部分など、見直すべきところがあれば、具体的に挙げてください。						
※「2. 取組状況など」の設問に対する評価で1～3を選択された場合、特にご記入ください。						
新しい取組の提案などがある場合、アイデアをご記入ください。		<p>②瑞浪小学校のような大世帯では、どのような方法が効果的か、県下、全国の実績例を参考にするとよいのではないかと。まさにPDCAサイクルが機能する正しい評価が大切になってくると思います。</p> <p>③CSのスタイルはそれぞれに異なるかと思われるが、どのCSもそれぞれの取り組みを評価し改善しながら順次その充実を図ることが期待されている。その一助として、複数のCS間の情報交流の機会をもうける方策もある。(ただし、個々のCSが参加に積極的ならばという話だが)何より、子ども達をいっそう元気にするための仕組みなので、子ども達がより楽しく地域行事等に参加できる工夫など、評価、情報交流を通して学んでいくことも大切かと。</p> <p>④学校の敷地内に入ることが、コロナ禍や防犯上で難しくなっています。地域と一体になって作業ができる日を設定していただけると動きやすいと思います。大人ばかりの会議で、児童会からの声がほしいです。地域のおじさん、おばさんに望むことなど、小学生には難しいでしょうか。</p>				
5つの基本原則のうち特に該当する項目(3.満足・2.可・1.不満)		<p>【このシートのまとめ】→→→答申の「素材」となる部分</p> <p>■まずは地域が「CSの目的、意義等を理解し、共有していること」が大事！ →行政は、地域での理解、共有を深めるための工夫・支援が必要</p> <p>■継続していくためには、地域、学校双方にとって負担を過度なものにしないことが大事</p> <p>■行政の支援としては… →①立ち上げ・定着までの支援 ②継続的な支援・アドバイス ③財政的支援</p> <p>■市民が学校を応援しやすくなる仕組みづくりが大切</p> <p>■課題が生じた場合は、改善しながら、その地域にふさわしいCSに育てていくことが大事。→CSは地域の活性化にもつながる</p>				
市民主役の原則	2.4					
市民参加の原則	2.8					
協働の原則	2.7					
情報共有の原則	2.3					
効率性の原則	2.0					
自由意見コメント		<p>①CSは、大変、意義のあるものだと思います。しかし、教員も地域の役員さんも忙しくなって、子どもに向き合う時間やエネルギーが削がれてしまうと本末転倒だと思いますので、事務局体制をキチンと構築する必要があると思います。</p> <p>②2つの組織(「学校運営協議会」と「地域学校協働本部」)の違いやこの取り組み自体のメリットが初めて聞く多くの方には理解できないのではないか？ 地域の人から、「うちの小学校はCSになって、こんなふうになんか変わってきたぞ、変わっていきそうだ！(良くて悪くてもよい)」という話題が聞かえてくるような働きかけに期待します。地域の集まり(飲み会)で話ができたとき、コミュニティスクールの体制ができ、本当の意味で良いスタートが切れたと言えるのではないかと。</p> <p>③私の住む地域でのCS立ち上げには、行政・学校にひとかたならぬご指導・ご支援をいただいた。しかし、押しつけ的ではなく、地域の特徴を踏まえて地域としてどう主体的に動けるかという観点で終始支援をいただけたことは、地域としてもより柔軟な動きがとれ有難かった。また、地域への周知の際、CSは学校のみでなく地域の活性化をも期するものであることを強調していただくとともに、目指す子ども像について学校と地域とが共有し連携することで活動の中身もより充実し、結果として子ども達の意欲を引き出そうという道筋の理解を図るなど、引き続き指導・支援を進められたい。</p> <p>④CSは、基本条例にある、みんなが「幸せだな」と実感できるまちをつくるためにとてもいいことだと思います。導入途中での評価になりますので、少し辛口かもしれませんが、学校の役に立てて幸せ。子どもたちが喜んでくれて幸せ。健康で作業ができて幸せ。と地域の皆さんが心から思える意識付けができるよう、進めたいですね。</p> <p>⑤子どもは地域の宝であるので、地域と学校が一体感を持って取り組むこと。</p> <p>⑥取り組みの目的の浸透が課題と考える。継続することが大切で「地域の子育て」という課題が月日がたつごとに、人が変わるとに形骸化していくことを防ぐ必要があると考える。会議でもわかりにくかったのは目的主旨の部分。いろいろな考え方の人がいる地域で取り組みが常態化するためには目的を失わない、共有することが重要と思いました。</p> <p>⑦取り組みの目的”学校を核とした地域作り”についてご説明頂き、学校と地域は様々な取組みがあり、連携ができています。子を持つ親として当事者意識を持ち家庭も地域作りに関わって行くことが必要だと思います。</p>				
全体評価(平均)	3.7					